

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かしの木園		
○保護者評価実施期間	2025年 11月4日		～ 2025年 12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	159	(回答者数) 135
○従業者評価実施期間	2025年 11月 4日		～ 2025年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	たくさんの専門職が在籍し、連携がとりやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育担当職員で勉強会や情報共有を実施している ・保護者からの希望に応じて、病院と連携をとっている ・学会発表を行っている職員がいる ・集団療育に、個別療育担当者が参加し、関わり方の提案をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団療育と個別療育の合同カンファレンスを実施する ・療育者の専門的知識・技術の向上に努める
2	利用しているお子さんや保護者の満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを丁寧に行い、遊びの内容を工夫している ・カンファレンスの場で、多職種で意見交流をしている ・療育時間中に館内にいる保護者に対し、療育内容の説明や、療育中のお子さんの様子を丁寧に報告している 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びのアイデアを増やす ・多職種間での意見交換の機会をさらに企画していく ・保護者がお子さんの成長を実感できるような説明を心掛けたり成長を共に喜んだりすることで、保護者ご自身にも明るい気持ちで通って頂くことを目指す
3	市内の公立園や学校との連携がとりやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・発達相談で園の先生と日常の姿を共有している ・年度当初のこども園・幼稚園への引継ぎを実施している ・保護者の希望等に応じて、園への参観・連携をしている ・参観・ケア会議についての情報発信を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観やケア会議についての情報発信をさらに拡充する ・お子さんのニーズに応じたタイミングでの園訪問を実施していく ・年度の早い段階で園訪問をしていく ・私立園との連携を充実させていくことを検討する ・学校への巡回に携わる人員の充実を図る

	事業所の弱み(※) だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもに関する制度や関係機関についての情報・知識の研鑽と更新が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉・保健・医療・保育・教育等、様々な領域の制度や地域の関係機関について、知見を深めていくための学びが充分でない ・登園渋りや不登園状態の児と関係機関との協働までには至れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉・保健・医療・保育・教育等、こどもを取り巻く様々な制度や関係機関について、仕組みや役割、用語理解を促進する研修を設ける ・各園や、学校教育課(教育支援センター)との連携強化を図り、事業所への通所や所属園への登園そのものに難しさがあるお子さんへの支援の方策を検討していく
2	市民への発信力、アピール力が不足している	<ul style="list-style-type: none"> ・橿原市のホームページから、かしの木園のページにたどり着きにくい ・ホームページの更新回数や投稿記事が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを園だよりに掲載するなど、ホームページにつながりやすい仕組みづくりをする。 ・ホームページに、かしの木園を利用している保護者の声を掲載する
3	地域の方々との交流の機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の手段、情報が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れを継続していく ・小学校との交流を継続し、中学校との交流についても検討していく ・地域の清掃活動や行事への参加を検討する